

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科1年) 2020年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			ファッションビジネス	ファッションビジネス業界において、産業の構造（繊維、アパレル、小売）と現状を理解し、その特徴と問題点、社会と消費者の変化、国際環境の変化など、ファッション業界の変遷と実態を学ぶ。	1・通年	60	2	○			○		○			
○			グローバルビジネスⅠ	グローバルファッションとは何か？世界のファッション構造はどの様になっているのか？何故今、グローバルな思考が重要なのか？グローバルで戦う為に必要な国際意識を植え付け、創造的な“検索力・情報収集力”“分析力・編集力”を磨き、“正解のない問題に対して、考える力・解決する力”を鍛え、“伝える力”を育成。また、国際社会で重要な“議論する力”“質問力”を磨き、人工知能が持たない創造性豊かなビジネス思考を育成。	1・通年	60	2	○			○		○			
○			マーケットリサーチ	目的を持って情報収集し整理分析する力、アイデアを出す力を身につける。そのためマーケティングの基礎であるリサーチから始め、その情報をもとにどのようにアパレル業界は運営されているのか、講義、実習を通して学ぶ。また「調べる・見る・聞く」の実践を通し、客観的にモノを見ることの重要性を理解する。	1・通年	90	3	○		△	○	△		○		
○			アパレル造形演習Ⅰ	防災袋製作を通し縫い方の基礎を学ぶ。アパレル商品への理解を深めることを目標に下半身の体型を理解し、パンツの構造・機能性を学ぶ。半身を装うシャツ・ブラウスの構造・機能性を学ぶ。	1・通年	120	4	△	○		○			○		
○			アパレル商品論Ⅰ	講義・実習を通し、ファッション業界で必要な商品知識を習得、向上を目指す。また、グローバルに活躍する人材として、グローバルファッションのトレンドや地域性による商品の違いを商品やコレクション、雑誌の情報から知る。	1・通年	60	2	○		△	○			○		

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科1年) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			アパレル素材論	アパレルの主素材である布地の種類と性能の基本を理解させ、応用力を養わせることを教育目標とする。 布地を理解し商品対応するには、布の構成要因となる繊維、糸、織、編、レース、染色、加工などの各々の種類、性質などを複合的に捉える必要があるため、授業は繊維から系統的に展開し、講義に加え、演習・実験・実習を含め理解を促し、実践的なものにする。レベルは、高度専門士としてファッションビジネスに携わるための礎を得られる設定である。	1・通年	60	2	○	△	△	○		○		
○			ファッション色彩	ファッションの色彩に関する基礎的な知識と技術を、講義と実習を通して身につける。色彩の体系、色彩の科学、色彩心理、配色の基礎、ファッションカラーコーディネーションについて学び、ファッション流通の現場で生かすことを目標とする。	1・通年	60	2	○		△	○		○		
○			ファッションコーディネート	時代への適応力を持ち合わせ、客観的に捉えたファッションコーディネート提案能力を養う。 実物を使用して、実践的に取り組みながら学習することを目標とする。	1・通年	60	2	△		○	○		○		
○			ファッション販売	販売員の仕事を理解し、知識と技術を体得する。 販売員として、お客様を「おもてなしする」という意識付けや知識、技術を習得する。 社会人に必要な言葉遣いや立ち居振る舞い(販売マナー・ビジネスマナー)を習得する。	1・後期	30	1	△		○	○		○		
○			ファッション史	ファッション史の通史的、概論的講義。古代から現代に至る西洋を中心とした歴史の流れと服装の推移発展を理解させる。特にヨーロッパの服装の変化と特性に重点を置き、現代ファッションの生成を理解し、学生が今後ファッション業界でその知識を活かせるようにする。	1・通年	60	2	○			○		○		
○			コンピュータワークI	オフィスソフト・グラフィックソフトを用いて、目的・用途に応じて使い分けができることと表現方法に広がりを持たせることを目標とする。また、クラウドを活用してのデータ共有等の現場活用できる利用方法を習得する。 ドロー系ソフト/ Illustratorの基礎とペイント系ソフト/ Photoshopの基礎 オフィスソフト/ Excel・PowerPointの基礎	1・通年	60	2	△		○	○		○		

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科1年) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		ニットA (造形選択a)	ハンドニットの一般知識(素材・道具・編み地)と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得し、ニットの可能性を広げる。	1・前期	30	1	△	○	○		○			
	○		ニットB (造形選択a)		1・後期	30	1	△	○	○		○			
	○		ソーイング aA トップス (造形選択a)	ニット(カットソー)のトップスを制作 スムーズ、フライスを中心とした布地で一重仕立てのトップスを制作する。 マスターパターンと既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた縫製方法を理解させる。 発表会を行い各作品にあったコーディネートを考える。	1・前期	30	1	△	○	○		○			
	○		ソーイング aB トップス (造形選択a)		1・後期	30	1	△	○	○		○			
	○		ソーイング bA ボトム (造形選択a)	パンツの本知識と下半身の体型を理解し、 実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	1・前期	30	1	△	○	○		○			
	○		ソーイング bB ボトム (造形選択a)		1・後期	30	1	△	○	○		○			
	○		ソーイング cA ワンピース (造形選択a)	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。 1年ではマスターパターンを使用したAラインの半袖ワンピースまたはノースリーブワンピース。 2年では原型を使用したAラインの半袖ワンピースまたはノースリーブワンピースをベースに応用発展させる。	1・前期	30	1	△	○	○		○			
	○		ソーイング cB ワンピース (造形選択a)		1・後期	30	1	△	○	○		○			
	○		ソーイング dA (造形選択a)	各自のコーディネートに足すことでより良く表現できるアイテム(小物)を制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用い、各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。 リメイクを可とし、既存の形を変える応用力も身に着ける。	1・前期	30	1	△	○	○		○			
	○		ソーイング dB (造形選択a)		1・後期	30	1	△	○	○		○			

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科1年) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		アートフラワーA (造形選択a)	コーディネート・撮影に使えるアクセサリ の制作【紅茶染め・アメリカンフラワー・樹脂】	1・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		アートフラワーB (造形選択a)		1・後期	30	1	△		○	○		○		
	○		ハンディワークA (造形選択a)	ハンディワークの基礎知識(カラーエンブ ロイダリー、ビーズエンブロイダリー、ス パングルエンブロイダリー、リボンワ ーク、つまみシャーリング)を理解すること を目標とする。 実際の商品に取り入れた作品を調査し、服 作りに応用発展できることを目標としたオ リジナルファッション小物を制作する。	1・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		ハンディワークB (造形選択a)		1・後期	30	1	△		○	○		○		
	○		帽子aA (造形選択a)	アクセサリの基礎として布帛による基本 的な帽子を製作し知識と技術を取得する。	1・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		帽子aB (造形選択a)		1・後期	30	1	△		○	○		○		
	○		帽子bA (造形選択a)	①ファッションコーディネートの演習に活 用される帽子の応用編 ②ヘッドドレスを2点制作する	1・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		帽子bB (造形選択a)		1・後期	30	1	△		○	○		○		
	○		バッグA (造形選択a)	ファッションコーディネートに必要なアク セサリの基本を学び、布地を使った一重 のエコバッグと裏地つきの曲げまちのト ートバッグの2種類を製作。	1・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		バッグB (造形選択a)		1・後期	30	1	△		○	○		○		

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科1年) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		ファッションイラストレーションaA (造形選択a)	・人体の基本となる8頭身を描き、自由なポーズを描けるようになる。 ・フロッタージュ・コラージュなどを取り入れたイラストレーションの技術を学ぶ。	1・前期	30	1	△	○	○			○		
	○		ファッションイラストレーションaB (造形選択a)	・A3サイズのオリジナルのファッションイラストレーションを描く。	1・後期	30	1	△	○	○			○		
	○		染色A (造形選択a)	染色に関する基礎的な知識と技法を、各実習を通して習得し、それをもとに他教科の制作物に応用展開できる能力を養う。	1・前期	30	1	△	○	○				○	
	○		染色B (造形選択a)	さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。	1・後期	30	1	△	○	○				○	
	○		着物着付けA (造形選択a)	着物、浴衣の一般知識及び基本的な着装の方法を身に着ける。 設定時間内に着方ができるような技術を身に着ける。	1・前期	30	1	△	○	○				○	
	○		着物着付けB (造形選択a)	着物の格やTPOを理解したうえで時代に即したスタイリングができることを目標とする	1・後期	30	1	△	○	○				○	
	○		日本のサブカルチャー史A (造形選択a)	映画、音楽、アニメ、ゲーム、キャラクターなどのサブカルチャーコンテンツからストリートファッションを含めた都市風俗までを見ながら時代や社会背景を考察し、日本の戦後の歴史をたどると同時にその特異性を探る。	1・前期	30	1	○			○			○	
	○		日本のサブカルチャー史B (造形選択a)	またさまざまな具体例を通しサブカルチャー的な思考法や想像力に触れ、同時代の社会や文化を見つめなおす新たな視点を得ることを目指す。	1・後期	30	1	○			○			○	

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科1年) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		映画から見るファッション (造形選択a)	授業概要：ファッションを伝えるメディア（媒体）の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代（1910-60年代）と「ニュー・シネマ」以降（1960年代後半-現在）と大きく二つに分け、①映画の技術の発展（サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど）と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。 到達目標：映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを理解し、ファッションの魅力を人に伝えられるように言語化（＝レポート提出）することを目標とする。	1・前期	30	1	○			○		○		
	○		映画から見るファッション (造形選択a)	授業概要：ファッションを伝えるメディア（媒体）の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代（1910-60年代）と「ニュー・シネマ」以降（1960年代後半-現在）と大きく二つに分け、①映画の技術の発展（サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど）と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。 到達目標：映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを理解し、ファッションの魅力を人に伝えられるように言語化（＝レポート提出）することを目標とする。	1・後期	30	1	○			○		○		
○			自由研究	グローバルビジネスデザイン科の4カ年で実施する「マイビジネスプロジェクト」立案に向けて1年次において自らの方向性を確立させるべく、様々な物事に対して「調べる・見る・聞く」を実践。その都度記録を残す習慣をつけるために、自由研究ファイルを作る。 最終的には、成果発表を実施する。	1・通年	60	2	△		○	○	△	○		
		○	短期語学留学 a	グローバルを視野に入れ、語学力のスキルアップを目的とする。 日頃の授業では得られない、語学力とコミュニケーション力を高める経験をするため。	1・集中	30	1		○			○		○	
	○		ファッション英会話 (語学選択 A)	初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、文法の復習と口頭でのアウトプットを主な目標とする。ファッションを専攻している学生を対象としているため、ファッション関連の語彙を増やすこと、ファッション関連の表現に接することにも重点を置いたプログラムとしている。レベルは初級（中位）から中級まで。	1・前期	30	1	○	△		○			○	
	○		ファッション英会話 (語学選択 B)	初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、文法の復習と口頭でのアウトプットを主な目標とする。ファッションを専攻している学生を対象としているため、ファッション関連の語彙を増やすこと、ファッション関連の表現に接することにも重点を置いたプログラムとしている。レベルは初級（中位）から中級まで。	1・後期	30	1	○	△		○			○	

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科1年) 2020年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 時 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		Oral Communications (語学選択A)	様々なシチュエーションを想定し、クラスメイトと英語でコミュニケーションをとる。会話中心の授業となるため学生には積極的な発言が求められる。授業は原則として英語で行う。	1・前期	30	1	○			○			
	○		Oral Communications (語学選択B)		1・後期	30	1	○			○			
	○		TOEIC (語学選択A)	TOEICテストでの600~700点程度の取得。スコアに見合うだけの英語力を身につける。	1・前期	30	1	○			○			
	○		TOEIC (語学選択B)		1・後期	30	1	○			○			
	○		中国語 (語学選択A)	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」をマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型入り、実践練習で会話表現を覚えます。初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級段階では、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩表現についてトレーニングします。中検4級基準。	1・前期	30	1	○	△		○			○
	○		中国語 (語学選択B)		1・後期	30	1	○	△		○			○
	○		日本語 (語学選択A)	留学生が本科の授業について行けるよう一般的な日本語の学習、特に表現力をつける学習を行う。更に専門用語リストやファッションニュースで専門語彙を増やすこと、自分の作品を日本語で表現することを目標とする。相手に伝わる日本語を話すための発音練習も行う。	1・前期	30	1	○	△		○			○
	○		日本語 (語学選択B)		1・後期	30	1	○	△		○			○

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科1年) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			キャリアディベロップメントIA	フィールドワーク課題、自由研究課題を通して、自分の興味を明らかにし、ビジネススキルを修得する ・自分を掘り下げて、ファッションと自分の原点を探る ・興味のあるファッション情報や社会課題などに着目する	1・前期	30	1	○	△		○		○		
○			キャリアディベロップメントIB	・研究、調査方法を磨く ・文章作成やプレゼンテーションを通じた表現力を磨く ・チームワーク力を磨く	1・後期	30	1	○	△		○			○	
○			特別講義 I	個々に持つファッションへの興味を「マイビジネスプロジェクト」として結実させるために、ぜひとも知っておきたい生活文化や人文科学の分野などから特別講義として実施する。 ・レギュラー授業の中に収めることが難しいが、学びの入り口として重要な要素を特別講義として導入 ・ファッションを知り、ビジネスを知り、自分を知る中で大切な視点を反映させる。	1・通年	60	2	○			○		○	△	
○			校外研修 I	・学内における平常授業ではなかなか学ばれないコミュニケーション力や表現力をアップさせるために実施する。	1・前期	30	1					○	○		
合計					18科目	1020単位時間(34単位)						

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること	1学年の学期区分	前・後期
	1学期の授業期間	15週

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科2年) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			グローバル ビジネスⅡ	グローバルな視点とクリエイティブな視点で、スピーディーに変化する世界のファッションビジネスの重要ポイントを分析。グローバルスタンダードを理解し、自分自身のヴィジョンを明確に、具体的にグローバルファッションビジネスへ反映させる思考の育成。そして、プレゼンテーションスキルを磨き、伝える事の重要性を学習。	2・ 通 年	60	2	○			○		○		
○			ビジネス プランニ ング	他者へと物事を伝える方法を学び、今後の活動へと応用できる技術を習得する。	2・ 通 年	90	3	○		△	○	△		○	
○			リテール マネジメ ントⅠ	・ショップの管理・運営に視点を置き、ショップ運営の基本から、リサーチ・分析を通してMDやVMDなどの現状の把握を行い、提案へとつなげる。 ・ショップ運営計画の立案を通して、予実管理の方法と成功の要因を追求し、ショップの管理・運営について学ぶ。	2・ 通 年	60	2	○		△	○	△		○	
○			ファッ ション マー チャ ン ダ イ ジ ン グⅠ	ブランド開発を基にファッションマーチャンダイジングについての基本知識の把握をする。	2・ 後 期	30	1	○		△	○			○	
○			売場計 数	リテールビジネスにおいて必要となる売場計数の基本的知識の修得を目標とする。売場でのコミュニケーションを円滑にするために必要となる計数用語を理解すること、計算演習を通して最低限の計数管理業務ができるようになることを目指す。	2・ 前 期	30	1	○	△		○			○	
○			ネット ビジ ネスⅠ	インターネットをはじめとした先端テクノロジーがファッション業界に与える影響を理解し、ネットとリアルの特性を生かしたビジネスの企画立案ができるようになることを目標とする。	2・ 通 年	60	2	○		△	○			○	○

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科2年) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			アパレル造形演習Ⅱ	1. パンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させ素材の扱い方、構造、機能性品質を学ぶ。 2. ブルゾンの製作を通して素材の扱い方、構造、機能性、品質を学ぶ。	2・通年	120	4	△	○	○		○			
○			アパレル商品論Ⅱ	講義・実習を通し、アパレル業界に必要な商品知識を習得、向上を目指す。また、マーケティング・ミックスにおけるプロダクト(商品)を通して提供する価値を伝達することを、商品知識を得ることで強化する。	2・通年	90	3	○	△	○	△	○			
○			アパレル品質論	テキスタイルやアパレルの企画、製造、販売における品質管理に関する知識を習得し、「関連する法律を理解し遵守する」「お客様の要求品質を満たす」ための活動ができることを目標とする。 講義と演習により理解を深める。	2・後期	30	1	○	△	○		○			
○			色彩活用学	ファッションを中心としたビジネスの企画・販売における色の効果を知り、その活用方法を学ぶ。 自己のビジネスプロジェクトにおいて企画コンセプトの表現や、ビジュアル表現、プレゼンテーションに色彩の効果的な活用を目指す。	2・前期	30	1	○	△	○		○		○	
○			デザイン論	19世紀末から今日までのデザイン(主にファッション以外)の歴史や視点を学習し、芸術や文化に対する教養を深める。身の回りのいろいろなデザインを自分自身の視点で判断するための知識や感性を養う。	2・通年	60	2	○		○		○			
○			コンピュータワークⅡ	1年次に基礎として学んだオフィスソフト・グラフィックソフトを用いて、目的・用途に応じた使い分けをして臨機応変な方法でコンピュータを扱うことができることを目標とする。Webサイトを扱っていく上で必要な操作方法も扱っていく。	2・通年	60	2	△	○	○		○			

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科2年) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		ニットA (造形選択b)	ハンドニットの一般知識(素材・道具・編み地)と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得し、ニットの可能性を広げる。	2・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		ニットB (造形選択b)		2・後期	30	1	△		○	○		○		
	○		ソーイング aA トップス (造形選択b)	ニット(カットソー)のトップスを制作 スムーズ、フライスを中心とした布地で一重仕立てのトップスを制作する。 マスターパターンと既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた縫製方法を理解させる。 発表会を行い各作品にあったコーディネートを考える。	2・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		ソーイング aB トップス (造形選択b)		2・後期	30	1	△		○	○		○		
	○		ソーイング bA ボトム (造形選択b)	パンツの本知識と下半身の体型を理解し、 実物作品を完成させてコーディネートテクニクを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	2・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		ソーイング bB ボトム (造形選択b)		2・後期	30	1	△		○	○		○		
	○		ソーイング cA ワンピース (造形選択b)	綿・化学繊維を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。 1年ではマスターパターンを使用したAラインの半袖ワンピースまたはノースリーブワンピース。 2年では原型を使用したAラインの半袖ワンピースまたはノースリーブワンピースをベースに応用発展させる。	2・前期	30	1	△		○	○		○		
	○		ソーイング cB ワンピース (造形選択b)		2・後期	30	1	△		○	○		○		

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科2年) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		ソーイングdA (造形選択b)	各自のコーディネートに足すことでより良く表現できるアイテム(小物)を制作する。教科書の作図と既存のパターンを用い、各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。リメイクを可とし、既存の形を変える応用力も身に着ける。	2・前期	30	1	△	○	○		○			
	○		ソーイングdB (造形選択b)		2・後期	30	1	△	○	○		○			
	○		アートフラワーA (造形選択b)	コーディネート・撮影に使えるアクセサリ-の制作【紅茶染め・アメリカンフラワー・樹脂】	2・前期	30	1	△	○	○		○			
	○		アートフラワーB (造形選択b)		2・後期	30	1	△	○	○		○			
	○		ハンディワークA (造形選択b)	ハンディワークの基礎知識(カラーエンブroidaリー、ビーズエンブroidaリー、スパングルエンブroidaリー、リボンワーク、つまみシャーリング)を理解することを目標とする。実際の商品に取り入れた作品を調査し、服作りに応用発展できることを目標としたオリジナルファッション小物を制作する。	2・前期	30	1	△	○	○		○			
	○		ハンディワークB (造形選択b)		2・後期	30	1	△	○	○		○			
	○		帽子aA (造形選択b)	アクセサリ-の基礎として布帛による基本的な帽子を製作し知識と技術を取得する。	2・前期	30	1	△	○	○		○			
	○		帽子aB (造形選択b)		2・後期	30	1	△	○	○		○			
	○		帽子bA (造形選択b)	①ファッションコーディネートの演習に活用される帽子の応用編 ②ヘッドドレスを2点制作する	2・前期	30	1	△	○	○		○			
	○		帽子bB (造形選択b)		2・後期	30	1	△	○	○		○			

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科2年) 2020年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単位 時数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		バッグA (造形選択b)	ファッションコーディネートに必要なアクセサリの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	2・前期	30	1	△	○	○		○		
	○		バッグB (造形選択b)		2・後期	30	1	△	○	○		○		
	○		ファッションイラストレーションA (造形選択b)	・人体の基本となる8頭身を描き、自由なポーズを描けるようになる。 ・フロッタージュ・コラージュなどを取り入れたイラストレーションの技術を学ぶ。 ・A3サイズのオリジナルのファッションイラストレーションを描く。	2・前期	30	1	△	○	○		○		
	○		ファッションイラストレーションB (造形選択b)		2・後期	30	1	△	○	○		○		
	○		染色A (造形選択b)	染色に関する基礎的な知識と技法を、各実習を通して習得し、それをもとに他教科の制作物に応用展開できる能力を養う。 さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。	2・前期	30	1	△	○	○			○	
	○		染色B (造形選択b)		2・後期	30	1	△	○	○			○	
	○		着物着付けA (造形選択b)	着物、浴衣の一般知識及び基本的な着装の方法を身に着ける。 設定時間内に着方ができるよう技術を身に着ける。 着物の格やTPOを理解したうえで時代に即したスタイリングができることを目標とする。	2・前期	30	1	△	○	○		○		
	○		着物着付けB (造形選択b)		2・後期	30	1	△	○	○		○		

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科2年) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		日本のサブカルチャー史A (造形選択b)	映画、音楽、アニメ、ゲーム、キャラクターなどのサブカルチャーコンテンツからストリートファッションを含めた都市風俗までを見ながら時代や社会背景を考察し、日本の戦後の歴史をたどると同時にその特異性を探る。またさまざまな具体例を通しサブカルチャー的な思考法や想像力に触れ、同時代の社会や文化を見つめなおす新たな視点を得ることを目指す。	2・前期	30	1	○			○		○		
	○		日本のサブカルチャー史B (造形選択b)		2・後期	30	1	○			○		○		
	○		映画から見るファッションA (造形選択b)	授業概要：ファッションを伝えるメディア（媒体）の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代（1910-60年代）と「ニュー・シネマ」以降（1960年代後半-現在）と大きく二つに分け、①映画の技術の発展（サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど）と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。 到達目標：映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを理解し、ファッションの魅力や人を伝えられるように言語化（＝レポート提出）することを目標とする。	2・前期	30	1	○			○		○		
	○		映画から見るファッションB (造形選択b)		2・後期	30	1	○			○		○		
	○		パソコンスキルaA (造形選択b)	AdobeのPremiereを中心に使用し、動画の編集を学び、最終的には一人で動画の完成まで出来るようになる事を目的とする。また編集の視点から企画・撮影についても学ぶ。	2・前期	30	1	○			○		○		
	○		パソコンスキルbA (造形選択b)	衣服の構造を理解し、その視覚的伝達表現ツールとしてパーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身に着ける。ファッション企画、アパレル生産における実務能力の習得、向上を目標とする。衣服製品図の製作を通してグラフィックソフトの基礎技法習得を目指す。	2・前期	30	1	○			○		○		

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科2年) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	短期語学留学 ^b	・グローバルを視野に入れ、語学力のスキルアップを目的とする。 ・日頃の授業では得られない、語学力とコミュニケーション力を高める経験をするため。	2・後期集中	30	1			○		○	○		
		○	インターンシップ ^a	・将来のキャリアを視野に入れ、産業界の現状を理解し、実務の経験を積むことを目的とする。 ・3年次の長期インターンシップにつなげる研修とする。	2・後期集中	30	1			○		○		○	
○			ENGLISH COMMUNICATION I	語彙や文法の確認をしつつ、英語でのコミュニケーション能力を高める。海外に対する興味や造詣を深める。	2・通年	60	2	○	△	△	○		○		
○			ビジネス英語 I	この授業では基本的な英文法を復習し、そのうえでビジネスシーンにおける適切なコミュニケーション方法を扱う。主にe-mailでのやり取りを想定し、カジュアル、セミフォーマル、フォーマルの3種類に対応したアウトプットができるようになることを目標とする。レベルは中～準中級を想定している。	2・通年	60	2	○	△		○		○		
		○	ファッション英会話 (語学選択A)	初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、文法の復習と口頭でのアウトプットを主な目標とする。ファッションを専攻している学生を対象としているため、ファッション関連の語彙を増やすこと、ファッション関連の表現に接することにも重点を置いたプログラムとしている。レベルは初級(中位)から中級まで。	2・前期	30	1	○	△		○			○	
		○	ファッション英会話 (語学選択B)		2・後期	30	1	○	△		○				○
		○	Oral Communications (語学選択A)	様々なシチュエーションを想定し、クラスメイトと英語でコミュニケーションをとる。会話中心の授業となるため学生には積極的な発言が求められる。授業は原則として英語で行う。	2・前期	30	1	○	△		○			○	
		○	Oral Communications (語学選択B)		2・後期	30	1	○	△		○				○

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科2年) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	TOEIC (語学選択A)	TOEICテストでの600~700点程度の取得。 スコアに見合うだけの英語力を身につける。	2・前期	30	1	○	△		○		○		
		○	TOEIC (語学選択B)		2・後期	30	1	○	△		○		○		
		○	中国語 (語学選択A)	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」をマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型入り、実践練習で会話表現を覚えます。初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級段階では、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩表現についてトレーニングします。中検4級基準。	2・前期	30	1	○	△		○		○		
		○	中国語 (語学選択B)		2・後期	30	1	○	△		○		○		
		○	日本語 (語学選択A)	留学生が本科の授業について行けるよう一般的な日本語の学習、特に表現力をつける学習を行う。更に専門用語リストやファッションニュースで専門語彙を増やすこと、自分の作品を日本語で表現することを目標とする。相手に伝わる日本語を話すための発音練習も行う。	2・前期	30	1	○	△		○		○		
		○	日本語 (語学選択B)		2・後期	30	1	○	△		○		○		
○			キャリア ディベロップメントⅡ	・自分のキャリアについての当面目標を具体的にするため、どんな機会、職務があるかを知る ・社会人基礎力を整理しつつ、組織の成り立ちや重視される考え方、多様な働き方について学ぶ。 ・キャリア準備実行計画を立て、実現のための各種ネットワークを築く。	2・通年	60	2	○	△		○		○		
○			特別講義Ⅱ	ファッション業界の現場で働く方の講義を通じて、幅広く業界の知識を深める。	2・通年	60	2	○			○		○		
合計			18科目		1020単位時間(34単位)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること		1学年の学期区分	前・後期
		1学期の授業期間	15週

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科3年) 2020年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			マイビジネスプロジェクトⅠ	興味がある、好きだといった服飾、またはそれにまつわるサービスを、マーケットの調査、ターゲットの調査等を行い、市場、ターゲットに行かに新鮮な体験とビジネスとしての収益性があるかを、具現化することができるプランにしていくステップを学ぶとともに、自らの企画のビジネスモデルと事業コンセプトを企画し、4年次の最終プランの基礎作りをマンツーマンのアドバイスをしながら行う。	3・通年	150	5	○	○		○			○		
○			長期インターンシップ	将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。 ファッション流通分野での 後期9月から10月末の2か月間におよぶインターンシップ研修を実施。 各自のビジネスプラン「マイビジネスプロジェクト」に関連した自己開拓による国内外のインターンシップ。	3・後期	150	5		○			○		○	○	
○			キャリアディベロップメントⅡ	長期インターンシップ研修に向けた研修先の交渉・確保・手続きなど学生の主体的な準備のフォロー・サポートから、研修後のレポート作成や発表など、結果の検証までを指導することを目標とする。	3・通年	60	2	○		○	○			○		
○			グローバルマネジメントⅠ	グローバルな視点を前提に、ビジネスとマネジメントの考え方を、大小様々なビジネスの現状にマクロ・ミクロ双方からアプローチし、勝ち残れるビジネスモデルの立案能力の取得をも視野に入れる。	3・通年	60	2	○		△	○				○	
○			プロモーション	実際の現場で実践を通して、プロモーションの本質 集客 周知 イベント企画 運用 マネジメント力を学ぶ。	3・通年	60	2	○		△	○				○	

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科3年) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ファッションマーチャンダイジングⅡ	アパレルにおけるマーチャンダイジング業務に関する知識、および根底となる考え方の習得を目指す。マーチャンダイザーが実施するマーケティング分析、スケジュール管理や実際の企画作業時に考慮する点を踏まえて講義し、実習によって身に着ける。これからマーチャンダイザーとして実務に携わる者の、基礎固めのレベルを目指す。	3・通年	60	2	○		△	○		○	○	
○			イベントプランニング	企画立案からコンテンツ準備、関係者調整、予算調整、広告宣伝、当日の運用までの一貫したプロジェクト運用と応用力を養う。 座学だけでなく、教室を出ての実地実践を通して、イベントの本質理解とプロデュース力、マネジメント力、プロモーション力の醸成を狙う。	3・後期	30	1	○		△	○		○	○	
○			貿易実務	日本国内で展開販売しているアパレル製品は現状、大半が、輸入製品で、日本国内で生産している比率は非常に低いのが現実である。輸入製品にも色々種類があり、海外で生産された商品や、海外製品を、日本に持ち込むには貿易という手段を使う。貿易の基本的流れを理解することを主たる目的とする。実社会に出てから、役に立つ程度の基礎知識レベル。	3・通年	60	2	○			○	△	○		
○			アカウントティング	タックス、ファイナンス、アカウントティングの意味を理解し、ビジネスの場面で対応できるレベルを目標とする。 財産と利益の把握方法、売上や利益に課せられるタックスの構造、その申告方法などについて、実践的なレベルでの解説を行う。ファッションビジネスで活かすことができる経済感覚を養い、グローバルに活躍できる人材を育成することを目標に、講義内容を設定している。	3・後期	30	1	○	△		○		○		
○			美学	今日アートとファッションは相互連関関係にあり現代美術への理解と評価は必須である。本講義では美学の基礎と現代美術、アート市場の操作を分析し、ファッション・ビジネスに不可欠な知識を会得することを目的とする。	3・後期	60	2	○			○		○		

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科3年) 2020年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			ビジュアルマーチャンダイジング	VMDの一連の業務内容を演習を通して理解し様々なシーンに対応できる応用力を身につける。 ディスプレイMPテクニック、VMDマップ制作	3・通年	60	2	△	○		○		○			
	○		レザークラフト	・素材としての革の知識を深める ・危険工具を扱う安全対策及び基礎知識の習得 ・革の種類によって加工方法の違いを知る	3・前期	30	1			○	○		○			
	○		パーソナルカラー実践・演習	これまで学んできた色彩学・配色理論をベースに、ファッションビジネスの現場で実践できるパーソナルカラーコンサルティング、カラー戦略としてパーソナルカラーを習得する。似合う色を分析するドレーピング、クライアントへの対応スキル、アドバースシート・プランニングシートの作成等を通してコンサルティング力（分析・提案）やプランニング力（企画・提案）を磨くことを目標とする。	3・前期	30	1		○		○		○			
	○		デジタルPR演習	ファッションマーケティングが大きく変化する現在、PRツールとしてのデジタルメディアの使い方が重要になっています。ホームページ作成と動画編集の演習をベースに、消費者の関心、興味、共感をどうやってつかめばいいのか。最新のテクノロジーやイノベーションに対応できる統合的なPRツールの習得を目指す。使用ソフト /Adobe Photoshop / Adobe Premiere /	3・前期	30	1	△	○					○		
		○	短期語学留学 ^b	グローバルを視野に入れ、語学力のスキルアップを目的とする。 日頃の授業では得られない、語学力とコミュニケーション力を高める経験をするため。	3・後期集中	30	1		○			○		○		
		○	インターンシップ ^b	将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。 期間を1週間とする。	3・後期集中	30	1		○			○		○		
		○	インターンシップ ^c	将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。 期間を2週間とする。	3・後期集中	60	2		○			○		○		

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科3年) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	インターンシップd	将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。期間を3週間とする。	3・後期集中	90	3		○				○		
○			文化人類学	授業では、文化人類学の基礎概念を学ぶ。到達目標は、自文化を相対化しつつ多様な文化と表現の意義を理解すること。日常における身近な題材を文化人類学的視点から分析できるレベルになることが最終目標である。	3・後期	30	1	○			○		○		
○			ENGLISH COMMUNICATION II	文法の確認をしつつ、英語表現のレベルアップを目指すコース。平易だが正しい英語で自分のいたいことを口頭で表現することを第一の目標とする。	3・通年	60	2	○	△		○		○		
○			ビジネス英語 II	この授業はグローバルビジネスコースの学生を対象とする。この授業は上級のリーディングテクニックに加え、ウェブサイトの作成や学期末のビジネスプロジェクトに焦点を合わせたライティングについても取り扱う。	3・通年	60	2	○	△		○		○		
○			特別講義Ⅲ	カリキュラム内の科目に属さない内容の集中講義で、ファッション分野を幅広く理解させる。	3・通年	60	2	○			○		○		
○			校外研修Ⅱ	研修を通し学生同士 研修先へのコミュニケーション能力向上。研修先での体験学習 企業見学 博物館見学から得られる 知識や創造性の領域を広げる。	3・後期	60	2			○		○	○		
合計			17科目		1080単位時間(36単位)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること	1学年の学期区分 前・後期
	1学期の授業期間 15週

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科4年) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			マイビジネスプロジェクトⅡ	3年までにマイビジネスプロジェクトのビジネスモデル、コンセプト、ターゲット、基本アイデアプランを基に、計数計画を持って、実現可能なMD、VMD、内装や陳列、サービス、顧客管理、接客方法、プロモーションを計画するとともに利益の出るプランを考え、プレゼンテーションをする。そのために各自マンツーマンで指導。	4・通年	150	5	○		△	○			○	
○			グローバルマネジメントⅡ	海外ファッション流通業の動向、問題点、この先の見通しと日本企業が海外展開する上での成功と失敗事例から、グローバルビジネスに欠かすことのできない様々な知見を習得。	4・通年	60	2	○		△	○		○		
○			プロモーション戦略	MBPの授業を基本としながら、そのプランに必要なプロモーションプランの作成を行う。 プロモーションとは目的、目的達成のための数値目標を明確にし、その達成のためのメディア、ツール、クリエイティブとその効果と予算を決定し、PDCAで分析することであり、そのプロセスでプランニングを行う。 各自のプランに合わせたプラン作成を行うため、マンツーマンでフォローアップしていく。 各自のプランに合わせたプラン作成を行うため、マンツーマンでフォローアップしていく。	4・通年	60	2	○		△	○			○	
○			マーチャンダイジング戦略	マイビジネスプロジェクトへ向けてのサポートと、就職してからも役立つMD知識を身に着ける。	4・通年	60	2	○		△	○		○		○

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科4年) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			商品プロダクト戦略	アパレル産業の業務の内、生産実務についての理解を深める。アパレル製品の仕様や縫い目、副資材などの細部に至る品質を見極め、商品企画内容を生産に反映させるための基礎力をつける。生産依頼をする際の帳票の内容を理解し、作成ができるレベルを目指す。	4・通年	60	2	○		△	○		○		
○			Webマーケティング	アパレル系企業のマーケティング部門およびPR部署に就業した際、その後のキャリア形成において大きな貢献ができるようWebマーケティング領域の知識や経験を積むこと。	4・通年	60	2	○		△	○		○		○
○			ファッションロー	ファッションビジネスに関連する法律について知的財産制度を中心に概略を紹介する。将来ファッションビジネスに携わる際の法的問題に“気づき”を得ることを目標とする。	4・前期	30	1	○			○			○	
○			ファイナンス	ビジネスの世界で「事業戦略」とともに車の両輪をなす「ファイナンス戦略」の基本的なエッセンスを学ぶ。会社に投資を行う投資家の思考を理解したうえで、マイビジネスプラン(MBP)にリアリティを備えるためのファイナンス手法の理解を目標とする。	4・前期	30	1	○			○		○		
○			ユニバーサルファッション	「ファッション・装い」とはどのような意味があるのかを、健常者・障がい者・高齢者という枠ではなくユニバーサルな視点で捉え、クオリティオブライフの向上に通じるファッションについて、人体の経年変化に伴う形態機能障害や先天的あるいは後天的障害における身体機能の変化も踏まえ理解させる。	4・前期	30	1	○			○		○		
○			現代社会とファッション	歴史、構成、配色や市場のトレンド、さらにファッションをとりまく政治・経済・文化・社会全体のグローバルな流行の操作を分析し、ファッション・プロモーションに不可欠な知識を会得することを目的とする。	4・通年	60	2	○			○		○		

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科4年) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			国際政治学	世界政治の学習を通じて国際関係の基礎を理解することにより、グローバルなビジネスデザインに必須の思考の基礎体力をつくることを、本講義の目的とする。	4・前期	60	2	○			○		○		
○			コーチング	自分を活かし、人を活かすコミュニケーションを学ぶことで、ビジネスの世界で自分の能力を開花し、「プロの表現者」へと成長すること。到達目標は「共有から共感にいたる聞き方」「相手の理解と共感を得る伝え方」をマスターすること。	4・後期	30	1	○			○			○	
		○	インターンシップ ^e	社会に出てからのキャリア向上にむけ実務体験をする。各自それぞれの能力に合わせて設定できる自由選択とする。	4・後期集中	30	1			○		○		○	
		○	インターンシップ ^f	社会に出てからのキャリア向上にむけ実務体験をする。各自それぞれの能力に合わせて設定できる自由選択とする。	4・後期集中	60	2			○		○		○	
		○	インターンシップ ^g	社会に出てからのキャリア向上にむけ実務体験をする。各自それぞれの能力に合わせて設定できる自由選択とする。	4・後期集中	90	3			○		○		○	

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科4年) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	インターンシップ ^h	社会に出てからのキャリア向上にむけ実務体験をする。各自それぞれの能力に合わせ設定できる自由選択とする。	4・後期集中	120	4			○		○			
○			ENGLISH COMMUNICATIONⅢ	文法の確認をしつつ、英語表現のレベルアップを目指すコース。平易だが正しい英語で自分のいいたいことを口頭で表現するというを第一の目標とする。	4・通年	60	2	○	△		○		○		
○			ビジネス英語Ⅲ	この授業はグローバルビジネスコースの学生を対象とする。この授業は上級のリーディングテクニックに加え、ウェブサイトの作成や学期末のビジネスプロジェクトに焦点を合わせたライティングについても取り扱う。	4・通年	60	2	○	△		○		○		
○			特別講義Ⅳ	カリキュラム内の科目に属さない内容の集中講義で、ファッション分野を幅広く理解させる。	4・通年	60	2	○			○			○	
○			卒業研究・創作	卒業研究創作テーマ：マイビジネスプロジェクトにおいて、実施検証した事柄について各自の発表のための準備実働時間。その後のコンテンツ配信 フィードバック考察までを学ぶ。	4・後期	120	4	△		○	○		○		
合計				16科目	990単位時間(33単位)							
総合計				69科目	4110単位時間(137単位)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること	1学年の学期区分	前・後期
	1学期の授業期間	15週